



「経済再生プラン学習会」  
実行委員会は12日、垣内  
亮党経済・社会保障政策  
委員会責任者を招いた学  
習講演会「暮らしに希望

を日本共産党の経済再生  
プラン」を三豊市で開き、  
約160人が参加しまし  
た。

垣内氏は、物価高騰や  
実質賃金下落、  
家計消費の冷え込  
み、実体経済とか  
け離れた株高やそ  
の要因などをデー  
タやグラフで明示  
消費増税の一方  
で、人件費・法人  
税・企業の社会保  
険料などのコスト  
カット経済をすす  
めたとして「家計  
に増税し、大企業・  
富裕層に減税する

参加者からは、「香川  
県や高松市に当てはめる  
とどうなるかの資料が示  
され、理解しやすい部分  
も多くあった。経済再生  
プランの実現を阻むのは  
自民党政治か、財務省か、  
このままでは日本は衰退  
の一途を辿ってしまう。  
条例の制定など運動をど  
う具体的に進め、拡げて  
いけばよいのかの発展形  
をもっと知りたい」など  
の意見が出されました。



## 三豊で経済再生 プラン学習会



定価 月 100円  
発行所  
民主香川社  
高松市藤塚町  
3丁目13-14  
☎(087)834-7311

逆立ち税制が日本経済に  
『失われた30年』もた  
らした」と指摘しました。  
経済再生プランの内部留  
保課税と賃上げや非正規  
ワーカーの待遇改善など  
をあげ「国民の暮らし破  
壊の緊縮財政では  
なく、国民の暮らし  
や営業を守るため  
に、税制や社会  
保障制度による所  
得の再分配で格差  
の是正を図ること  
が税・財政の本来  
の役割だ」と強調  
しました。「円安差益や、  
歳出の無駄を削っても、  
借金や大増税をしてでも  
すべて軍事費に回る大軍  
拡の計画は財政面からみ  
てもやめるべき」だと述  
べました。

### 総選挙候補者の訴え と参加者の感想

最後に、白川よう子衆  
院四国比例、石田まゆ香  
川2区、笹井たかし同3  
区各候補が総選挙に向け  
ての決意を訴え。

## 異台敵太

戦争が身近にやってく  
る。高松港の軍港化に  
5億2千万円がかけら  
れるという。2月24日  
夕方、自衛艦が入って  
きた。西側の赤灯台に  
そって岸壁に巨体がつ  
いた。「戦争は最大の  
人権侵害 九条改憲を  
許すな」の横断幕がむ  
かえた▼その高松港の  
東。倉庫の並ぶあたり  
が軍港化されて、軍艦  
が常にやってくることに  
なる。四国の玄関である、民間の大  
事な港。フェリーが常に小豆島、  
直島、宇野と行き来するところに  
軍艦はいらない。一発のミサイル  
の標的になるようなことがあれば  
……▼この話きちんと裏をとった、  
つまり公的な機関なり人なりに確  
認した話ではない。けれどいろいろ  
な場所ですれ合ひのなかで耳に入っ  
てくる。というより決まり事として  
話されているように思う▼戦争  
は「ありえない」だろうか。19  
45年7月4日、午前2時26分、  
アメリカのB29百十六機が高松上  
空を襲い死者千三百五十九人、一  
万八千九百十三戸が灰燼(じん)  
に帰した。いまミサイル一発で受  
ける被害はそれどころではないだ  
ろう▼まもなくやってくる「第34  
回明日に伝える高松空襲」のつとい  
今回は「絵で語る焼け残った建物た  
ちへ」をテーマに、7月4日(木)  
午後6時中央公園(高松市役所前)  
に集まり、午後7時からは香川県  
社会福祉総合センター(ミライエ)  
で、焼け残った建物を描いた猪熊  
アイ子さんの体験談をうかがい話  
し合い、交流する予定だ。

## 草の根の力で戦争国家づくりを止める

新日本婦人の会香川県本部 会長 小早川加代子

提の戦争国家づくりが進ん  
でいて危機感を持っていま  
す。

明るい民主  
県政をきずく  
香川県連絡会  
の共同代表と  
して、高松港  
の特定利用港  
湾の指定に反  
対の抗議行動  
や県への申し  
入れをしてき  
ました。県の  
指定受け入れ  
は拙速で、有  
事にどうなる  
か心配ですし、  
県民には内容  
がほとんど周  
知されていま  
せん。香川で  
も自衛隊の基  
地強靱化や中  
学校でミサイ  
ルの避難訓練  
など、日本が  
戦場となる前

## 禁止爆水 参加を進行平和

☆6月16日(日)  
愛媛県から香川県入り  
——香川県内行進——  
☆6月30日(日)  
東かがわ市で四国終結



わたしは元教員で、新日  
本婦人の会香川県本部会長  
の小早川加代子です。



教員時代、修学旅行で、  
長崎の原爆被害や、二度と  
戦争を起こさないというこ  
とを子どもたちに教え、問  
いかけてきました。「戦争  
は教育、教室、教科書から  
やってくる。教え子を再び  
戦場に送らない」という教  
訓を胸に、一人の力は小さ  
いですが、戦争をさせない  
という仲間を増やしていき  
ます。

### 郷土辞典「笠居郷探訪」(一部抜粋) ⑬

## 天領 (てんりょう)

著者 立山 信浩

幕府直轄の領地。正式名称  
は御料(ごりょう)・御料所。  
天領は俗称。寺社に対して所  
領を確認した朱印地とは異な  
る。

徳川幕府は改易(所領の没  
収)と転封(国替え)を大名  
統制策の基本に置き、徳川氏  
に敵対する大名の所領を没収  
して天領に組み入れ、あるい  
は親藩の所領とした。その結  
果、家康から家光までの約50  
年間に、外様(とぎま)大名  
を中心に100を上回る大名  
家を取り潰された。

※ 天領とされたのは、関八  
州百万石を中心に江戸・大  
坂・京都・堺・長崎・佐渡  
などの政治・軍事・経済上  
の重要拠点、港湾、鉱山お  
よび全国の四百万石余の米  
作地帯など。

※ 天領には、勘定奉行支配  
下の代官所が置かれ、代官  
が年貢収納、その他民政を  
担当した。

※ 讃岐における外様大名生  
駒家の取り潰しは、將軍家  
光時代の寛永17年(164  
0)に行われた。このとき  
生駒高俊は讃岐17万石から  
出羽(秋田)矢島藩1万石  
に改易された。代わった讃  
岐高松藩主は親藩の松平家  
であつた。

讃岐国における江戸時代の  
天領は、満濃池御料所、小豆  
島、天保9年(1838)以  
降は小豆島東部三ヶ村のみ天  
領。西部六ヶ村は津山藩領、  
直島三島(直島・女木島・男  
木島)の三ヶ所。いずれも倉  
敷代官所、大坂代官所などの  
支配を受けた。

※ 満濃池御料所(2  
300石)は、満濃  
池の維持修築費用を  
確保するために置か  
れた。満濃池、那珂  
郡五条村、榎井村、  
苗田村と七箇村(し

ちかむら)の一部からなっ  
ており、初め守屋家が代官  
を務め、元禄以後は川之江  
代官所などの支配を受けた。  
満濃池が御料(天領)になっ  
たことにより、讃岐の三藩  
が自由に農業用水を使うこ  
とができなくなった。

※ 小豆島は天領として大坂  
町奉行、大坂代官所、倉敷  
代官所の支配をうけたが、  
高松藩預かりとなっていた  
時期もあつた。また幕末期  
の30年間、小豆島西部は津  
山藩領とされた。天領とさ  
れた直島三島は、倉敷代官  
所の支配を受ける時期がほ  
んどであつた。

※ 塩飽諸島は天領(幕府直  
轄地)ではなかったが、ど  
この藩にも属さず、人名  
(にんみょう)に運営がま  
かされる特異な自治領で  
あつた。

